

「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」 の実績等の評価等に関する議論の整理（座長メモ）（概要）

現行のアクションプログラムの実績等の評価

評価できる点

- 中小・地域金融機関が地域において自ら果たすべき役割を再認識
 - 融資姿勢や支援に向けた取組み状況は改善
 - 地域密着型金融を推進するための基本的な態勢の整備は進捗
- ⇒ 「集中改善期間」（15～16年度）の金融機関の取組みについては、一定の評価

不十分と考えられる点

- 地域密着型金融の本質が必ずしも正しく理解されていない
- 金融機関の計画が総花的。取組み姿勢・実績にバラツキ
- 事業再生への取組み、目利き能力等が依然として不十分
- 利用者に対する情報開示が不十分 等

新たなアクションプログラムに期待するもの

【基本的考え方】

- ① 地域密着型金融の継続的な推進
引き続き、地域経済の活性化や中小企業金融の円滑化のために機能強化の取組みの推進が必要
- ② 地域密着型金融の本質を踏まえた推進
地域密着型金融の本質を十分に踏まえた取組みを金融機関が行うとともに、積極的な広報活動等を通じて、地域の利用者にとこの考え方を十分に認識してもらう必要
- ③ 地域の特性や利用者ニーズ等を踏まえた「選択と集中」による推進
計画の策定に当たっては、地域の特性等を踏まえた個性あるものとするとともに、その実施に当たっても、「選択と集中」を通じてビジネスモデルを鮮明にし、自己責任と健全な競争の下、これを推進することが重要
- ④ 情報開示等の推進とこれによる規律付け
各金融機関が、自主的に、数値的な目標を含む、具体的かつ分かりやすい目標を策定・開示することを通じて利用者の評価を受け、これにより規律付けを図る必要

【留意事項】

- ① 事業再生・中小企業金融の円滑化
 - 産学官の連携の推進等を通じた創業支援体制の強化
 - 財務リストラにとどまらない構造的要因に対応した事業の再構築等
 - 金融実務者等の外部人材を活用したノウハウの吸収・再生ノウハウ共有化の推進
 - 企業の将来性や技術力を的確に評価するための取組みの強化 等
- ② 経営力の強化
 - 自主的な目標の設定及び計画・実績の公表等を通じた情報開示等による規律付け
 - 金融機関のビジネスモデル等の状況に応じたITの戦略的活用 等
- ③ 地域の利用者の利便性向上
 - 地域貢献の状況等に関する情報開示の充実。分かりやすい情報の積極的な提供
 - 地域と一体となった地域活性化に向けた取組みの積極的な推進 等